



学校だより

6月号
横浜市立桜台小学校
令和8年5月29日発行



HPはこちらから

レジリエンスの力 ～子どもたちに寄り添い、ともに成長する学校～

副校長 大山 美香

新緑がまぶしく、さわやかな風が心地よい季節となりました。保護者の皆様には、日頃より本校の教育活動に温かいご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。このたび、副校長として桜台小学校に着任いたしました大山美香と申します。地域に支えられ、長い歴史を大切にしてきた本校に関われることを大変うれしく思っております。子どもたち一人ひとりにしっかりと向き合い、誠実に教育活動に取り組んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。子どもたちは新しい環境の中で、それぞれの目標に向かって日々過ごしています。一方で、この時期は心身ともに疲れが出やすい時期でもあります。おうちでも早寝・早起き・朝ごはんの声掛けをお願いします。

私が大切にしたいと考えていることの一つに「レジリエンス（心の回復力・しなやかさ）」があります。学校生活では、成功だけでなく、失敗や葛藤も経験します。そのようなときに無理に頑張り続けるのではなく、立ち止まり、周囲の支えを受けながら再び前を向く力を育てることが、これからの時代を生きる子どもたちにとって重要です。①自分の思いを安心して表現できる②友達の違いを認め合える③あいさつや日々の温かな関わりを通して人とのつながりを感じられる。こうした積み重ねが、子どもたちの心の土台を築いていきます。子どもが直接伝える力を大事にし、教職員一同「明日も行きたい」と思える学校づくりに一丸となって取り組んでまいります。また、本校では学校教育目標「自分の思いや願いを実現させていこうとする子」を掲げています。「できた」「わかった」「またやってみよう」と実感できる日々を積み重ねることを大切に、子どもたちの主体的な学びを支えていきます。さらに、教育活動の一層の充実を図るため、教職員の働き方改革にも取り組んでおります。業務の見直しや効率化を進め、子どもたちと向き合う時間の確保に努めてまいります。学校からの連絡方法の工夫や行事の精選についても、引き続きご理解とご協力をお願いいたします。加えて、様々な組織の在り方についても見直しをし、保護者の皆様のご負担を軽減しながら、子どもたちの成長を共に支える関係づくりを大切に「できるときに、できる形で関わる」無理のない活動へと改善を検討中です。子どもたちの成長は学校だけでなく、保護者や地域の皆様との連携の中で育まれていくものです。ともに見守り、ともに喜び合える関係を大切にしながら、子どもたちの未来を支えていきたいと考えております。

今年度も、本校の教育活動にご理解とご支援を賜りますよう、
どうぞよろしくお願い申し上げます。

